

令和元年度第2回市川市大町レクリエーションゾーン協議会議事録

開催日時 : 令和2年1月29日(水) 午後2時から

開催場所 : 動植物園内会議室

出席者 : 委員 加藤武央委員・金子貞作委員・淡路洋委員・宮田明吉委員・久保田章委員・
板橋正弘委員(会長)・井上好子委員・高橋ひろ子委員・湯浅光男副会長
(竹内一雄会長[欠席])

所管課 水と緑の部 中野政夫部長
伊藤幸仁次長

動植物園 須藤 治園長・事務局担当4名

関係課 教育委員会 生涯学習部 青少年育成課 田中英一課長

教育委員会 生涯学習部 考古博物館 杉山元明館長

教育委員会 生涯学習部 青少年育成課 少年自然の家 花澤進一所長

教育委員会 生涯学習部 自然博物館 加藤久雄館長 他担当1名

大沼 : それでは定刻より少し早目ですが、今から平成31年度・令和元年度第2回大町レクリエーションゾーン協議会を開催させていただきます。本日は竹内委員から欠席のご連絡を頂いています。本日は9名の委員の出席を頂いていますので、「市川市大町レクリエーションゾーン協議会条例」第8条第二項に定める定足数に達している事から、本会議は成立となります。また、本日の協議会は傍聴希望の方はおりません。それでは平成31年度・令和元年度第2回市川市大町レクリエーションゾーン協議会を開催いたします。会議に先立ちまして、水と緑の部、部長中野よりご挨拶を致します。
…中野部長挨拶…

大沼 : 本日の議題1「令和元年度会長等の選出」、議題2「大町公園の保全管理基本方針(案)について」の2件です。事前の開催通知では「保全整備方針(案)」としていましたが、その後の検討の結果本日修正させて頂く事になりました。改めてご了解をお願いします。議題1の会長の選出ですが、委員の皆様の任期満了に伴い今年度、新たな委員の選出がありました。学識経験者の皆様は令和元年8月22日付で新たに任命、議員の皆様は4月の統一地方選挙に伴う5月17日付の臨時会における市川市審議会各委員の任命と、任期満了日翌日の令和元年6月24日付の2回に分けて任命されています。本日の協議会で、改めて互選により新たな会長及び副会長を選出して頂きたい。皆様、それぞれの自己紹介をお手元の名簿の順にお願いします。

…委員挨拶…

…事務局挨拶…

…竹内一雄委員を会長に選出、副会長に湯浅光男委員を選出…

湯浅 : 2番目の議題、大町公園の保全管理基本方針案について事務局から説明をお願いします。

…須藤園長説明…

- 大町公園の管理基本方針の策定
- 中央水路の改善と維持、埋設污水管の更新と維持
- 湿地環境改善の必要
- バラ園植栽の選定、大池下流のせせらぎゾーンの水路の水量減少

- 公園利用者のマナー悪化
- 園路や手すり等、老朽化が進む所の保全管理
- 谷津田の原風景の保全と生物多様性の維持向上
- A から J のゾーン別による大町公園の保全管理
- 園路や四阿等、公園施設の再整備

湯浅：質疑のある方は、挙手をお願いします。

高橋：外来生物の対応はどうしているか。

須藤：特定外来生物ではウシガエルが特に目立ち、ザリガニやカダヤシも問題。水草は特定外来は入っていないが、外来と思われるクレソンが非常に繁茂している。外来生物を一気に除去する事は、現在の湿地の生態系の維持に必ずしもプラスではない。自然博物館でも定期的に調査と生物量の測定をしている。基本的な方針はかつての斜面林や谷津田の自然環境の保全を目指すので、外来生物はこれ以上増やさない事で生物多様性の保全維持の中で対応し、持ち込まれる動植物等は配慮する。

高橋：ミシシippアカミミガメはいます？

須藤：ミシシippアカミミガメも増えている。最近は外来生物として大きく取り上げられるようになっていて、鯉も含め、大池の再整備の際どうしていくか考えている。

高橋：大池だけにしかない？

須藤：どちらかと言えば上流部分より大池に集中している。整備に合わせて生息域を少しせせらぎゾーンの方へ区切る事も考えている。改めて協議会の意見等も頂きしながら検討していきたい。

湯浅：他に、質疑のある方は。

加藤：去年の台風の被害を受けた時、大きな倒木があつて道が通れなかった。倒れるまでに木が伸びてしまった事が、まず管理不足では。池や湿地周りも殆ど開園時のままの状況なのは、やっぱり費用が無いからだと思う。再整備に適切な予算措置と事業実施を考慮するとあるが、方針案を作るのに、重点的に確保した予算で中期・長期の整備進行予定が事業計画にどう出るのか教えてもらいたい。

須藤：この基本方針に基づく事業計画が第一の目的の為、来年度事業には考え方を予算の中に完全には盛り込めていない。草刈りと伐木は、継続した予算を確保して実施している。四阿は復旧した。

加藤：令和2年度分からの「この辺を重点的にとっている」というのをまだ見てない。

須藤：提案調整中の新しい事業として、土木的な手法を含めた大池管理の為の基本調査実施。金額的には何百万円の予算を頂くので、これはまだ外部にお話しされない様お願いしたい。

中野：市民からの苦情で大池の鯉を放置していいのかという声も多いが、まずあの幅で何が可能なのか。小規模は作業量が落ちて高額になる。大池の堆積物は全体のボリュームが幾らなのか、生物的に何が生息しているのか等、まず大池がどんな形で再生出来るか基礎調査をしてから整備計画の中に反映していきたい。これについては、2月議会で予算の承認が得られれば新年度で対応したい。

加藤：これは前からしている話。令和元年度の予算では基礎調査の費用は無いから、新年度に持っていく事は賛成。ただ、斜面の高所で木が大きくなってしまうと処分する費用が更に高くなるし、早目にやらないと木は伸びるので、そういう所にも予算を確保するべきだと思う。伐採した方が良い木の選定をする為の予算位は通る。これは中・長期じゃ駄目。少しでも先にやった方が良い。

中野：大町公園ではないが、斜面緑地を維持管理している中で樹木調査や剪定をしている場所がある。大町公園の斜面林にも同様な手当てが必要とのご指摘だと思うので、これは考えていく。

加藤：早目に頭を伐っておけば1本百万までならない。倒れる前に木の選定を要望する。

金子：加藤委員と同じ部分があるが、大池の鯉を三角池に一時的に移植するのはどうか？移植後、今後の方針を決めて整地していく流れにしていけないと、市民に納得してもらえない。大事なのは、生物

多様性を維持・継続出来るような方針に対して「今度はここをやるので、これだけ予算を下さい」という事。自然災害後に訪れる市民の為の安全整備は、しっかり予算を組んですぐやらないと利用者が困る。今まで余りお金をかけてこなかった事で課題が山積した訳だから。やっぱりここはまだ潰す訳にはいかない。毎年の予算措置についてはどうか？

中野： 1～2 年で全て整備は出来ないと思う。方針決定後に整備計画を短期・中期・長期位に分け、財政当局に計画を認めて貰った上で、毎年継続的に予算要望をしたいと思っている。

金子： 鯉をどこか移殖するというのは。

中野： 現状は大池にヘドロが非常に多く、堆積量が不明。船が浮かばず、網を投げ入れても鯉や亀を捕獲できない。来年度行なう調査の中で、生き物の一時的な移転も課題として挙げている。方針を定めてから短期・中期・長期の事業をしっかり組み立て、予算を確保し事業を行っていく。

中野： 動物園の入口で、動物園と大町公園に入っていく所で分かれているが、あの通路自体デコボコなので直したい。そこも大池と一緒に色々改善を図れると思う。何も資料が無い状態でも大池の問題については協議会の皆さんの声を頂いてまいたし、市民からも苦情・要望等がかなり多い。来年は基礎調査から入って改善の方向で進めて行きたいというのは、部としても園としても一致した考えなので、きちんと予算を頂いて対応していきたい。

湯浅： 他に何か。

高橋： 短期・中期・長期の事業計画を立てるとの事だが、委員は変わる。10 年後も今の事業計画を理解して作業出来るように、年々の評価も入れて欲しい。今年の計画は出来なかったがどうしても、計画を取りやめるのかまた来年度やるのか、そういう評価をして頂きたい。

須藤： 基本方針事業を設定して効果についての評価や経過を皆さんに報告して意見を頂き、専門技術者や専門職員等の内部職員の評価も加え、これに照らして組み立てた事業が方針に則って効果を上げるかを事業効果の測定及び評価として報告していく。今までは基準が明確でなかったもので、毎年度の提案や日常管理内でやってきたが、照合するものに合った方針で事業が組み立てられ、それが効果を発揮したかの評価を行う事は今後の事業を進める中で必ず行われると考えている。

中野： 水と緑の部だけで大池を浚渫すればいいという問題でもない。自然博や学芸員の意見も踏まえ、その手法が本当に良いか検討して整備の仕方を決め、協議会にも諮って工事発注をして行きたい。

高橋： 時間が掛かるのは仕方ないと思うので、生き物優先で。

湯浅： 他に、質疑の方。

井上： 「8 事業実施計画」は、「基本的な方針」のまとめが提案されたのは初めて？6 期やってるけど聞いた事がない。

須藤： 基本的な方針を成文化して取り纏めたのは今回が初めて。今まで計画性が余り無かったのを、今回基本方針として整理と課題の抽出をして文書化し、担当者が変わってもブレない事業と評価が出来るように、今までの協議会での話題も含めて、この度初めて見直しと成文化をした。市民にも公表して責任を負う形でやって行きたい。

中野： 今までは単年度ごとで要望していても、全体をまとめるに為には部分的な事しか出来なかったが、大町公園全体を考えると保全管理の方針をきちんと定めて短期・中期・長期の整備方針を示さないと、毎年予算要望して継続的に事業を進めて行く形に説得力が無い。その為に、今回はこういう方針を案としてご提示させて頂いた。

井上： 最後の、何年計画とかの案があればお聞かせ頂きたい。どの位を考えているのか。

中野： 今日の方針案を協議会で議論をして頂き、方針はこれで良いという事になれば、次のステップへ入る。短期・中期・長期で掲げたい方針があるが、これでどうだろう、というのが今日の話。

井上： まだ I や S の、調査をしなければ出せない所がある。そういう所はかなり長期になると思うが、調

査は先に短期でやらなくてはいけないもの。

中野：先ほどの調査というのは、大池の調査。

井上：そういう部分的なものもある。

中野：優先順位も、市と協議会の優先順位や考え方に差があるなら、そこは調整しないといけない。

井上：わかりました。

湯浅：他に質疑のある方がおられないようなので、この辺で終了させて頂きたい。

須藤：この案で概ね異議なしという事でよろしいですか。

委員：異議なし。

須藤：では事務局でお預かりして部の内部で調整を図り、市民に公表出来るように取り組んで皆様の審議を頂き、この案を成案させていきたいと考えている。

井上：市民への公表はいつ頃？

須藤：できれば今年度中、人が変わる前にやりたい。基本的な案について皆さんの賛同を頂き、大変有難うございました。

湯浅：では、終了させて頂きます。どうも有難うございました。

全員：有難うございました。